



1 自己評価

I 評価結果 (別紙参照)

II 分析・改善方策

- (1) 学力を向上させる～授業改善はもちろんのこと、基礎基本の定着を目指して朝学習や補充学習を充実させる必要がある。そのために、時程を変更して全校で朝学習の時間を確保したり、放課後の時間を活用したりして学校全体で継続した指導に取り組みたい。保護者と連携して家庭学習の習慣を定着させたい。
- (2) 心を育てる～人権に関わる学習を意図的に進めてきたが、立場の弱い子がつらい思いをしたり、言葉づかいの荒さが目立つ子がいる。いじめ防止対策として、子ども達のよりよい人間関係づくりをめざしていく。
- (3) 特別支援教育～通常学級に在籍する対象児童が多く、衝動的・暴力的児童の指導が課題である。研修を深めるとともに、児相、市教委、SC、SSW 等と引き続き連携していく必要がある。
- (4) 保護者・地域との連携～地域人材を活用した体験学習や行事が実施できている。学校支援地域本部事業を立ち上げたものの地域コーディネーターの人選が難しい。
- (5) 滑らかな接続～中学校での入学説明会の実施や学力向上の取組のように、保・幼・小及び小・中の情報交換や共通行動が充実してきた。今後も中学校ブロックの共通した教育課題に取り組んでいく必要がある。

2 学校関係者評価委員会

- | | | |
|------------------|-----------------|------------------|
| ○安東 栄子(野介代父母の会) | ○犬飼より子(やよい保育園長) | ○小野 恭三(城東地区民生委員) |
| ○河野 修之(自然クラブ指導員) | ○日下 泰洋(志戸部町内会長) | ○山田 尚平(野介代町内会長) |
| ○西野 有一(ゆうゆうクラブ) | ○二木 昭(東苫田老人クラブ) | ○永禮 淳一(PTA会長) |

3 学校関係者評価

※学校の様々な活動に対して、大変肯定的に評価していただきました。A評価がもっとあっていいのではないかと、学校の取組の努力を評価していただき、来年度につながる貴重なご意見をたくさんいただきました。

- ①学力について気になっている。宿題提出がほぼ100%の学年があるのがすごい。自主学習に取り組む児童が増えてきていることから、子ども達も前向きに頑張ろうとしている。中学校ブロックで共通課題として家庭学習の充実に取り組んできた成果があらわれてきているのではないかな。
- ②生徒指導が大変なのではないか。子ども達ばかりが悪いのではなく、保護者や先生などの周りの大人が原因を作っていると思うこともある。礼儀や敬語など、大人がもっとしっかりしてほしい。
・親があいさつや話もしないのに、子どもだけに言っても難しい場合がある。しかし、大人から声かけをすると返事をするので、しっかり声かけをしていきましょう。
- ③本校は通常学級に在籍する特別支援が必要な児童の割合が高いと聞いて、先生達の手を取っているのではないかと心配している。学校ばかりに負担がかからないように、専門機関の協力を得ながらやってほしい。
- ④来年度の農業体験支援農家が確保できた。学校支援地域本部事業のコーディネーターも早く見つけてほしい。
- ⑤保幼小の子どもとの情報交換や、小小及び小中の情報交換がよくできている。

4 来年度の重点取組

(1) 学力を向上させる。【確かな学力】

- ①校内研修を充実させ授業改善を進めながら、児童の学力向上を図る。
- ②朝学習、補充学習、発展学習を充実させ、基礎・基本の定着を目指す。
- ③学習の規律や習慣を定着させ、集中力と学ぶ意欲を高める。

(2) 心を育てる。【豊かな心】

- ④生徒指導や人権教育を充実させ、いじめや暴力、不登校のない学校づくりをめざす。
- ⑤道徳の時間や各教科・特別活動など全般を通じて、道徳教育を計画的に推進する。
- ⑥むずかしいことにも挑戦し、最後まで頑張る心と体力を育てる。

(3) 個別の課題を抱える児童の指導を充実させる。【特別支援教育】

- ⑦特別な指導を必要とする児童のニーズに応じた、きめ細かな支援を充実させる。
- ⑧通常学級に在籍するニーズのある児童の支援を進める。

(4) 信頼される学校をつくる。【保護者・家庭や地域との連携】

- ⑨懇談会やPTA活動を充実させ、保護者とともに学校の教育課題や子育てについて学び合う。
- ⑩地域や保護者の教育力(学校支援地域本部事業)を活用し、地域に学び、地域を誇りに思う心を育成する。

(5) 保・幼・小・中連携を進める。【滑らかな接続】

- ⑪幼児と児童の交流や情報交換を通じて、保・幼・小の滑らかな接続をめざす。
- ⑫中道中学校ブロック全体で、学力向上や生徒指導の共通課題に取り組む。